

# サビ・アケ汁処理 施工手順

## ■ 施工方法

### 1 サビ汚れ施工前

施工前の状態



### 2 調色

Cリペカラーを躯体に合った色に調色し、目立たない部分を使って確認しましょう。  
\*Cリペカラー同士やトーンカラーを使って調整します。



### 3 吹付け

サビ汚れ部分に薄く吹付けましょう。一度に濃く吹かないように注意が必要です。



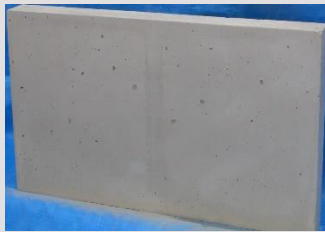
### 4 確認

乾かして確認しましょう。  
サビが消えるまで吹付け→乾燥→吹付けを繰り返します。  
時々#600ペーパーで軽くこすり、なじませます。



### 5 吹付け処理

サビが完全に消えました。



### 6 模様付け

トーンカラーで模様を付けて自然な風合いを復元しましょう。



### 7 施工完了

サビ汚れが消え、自然な仕上がりになれば完了です。



## 準備する物

- 小バケツ
- 刷毛
- 耐水ペーパー#600
- ウエス
- ワグナー
- コンプレッサー
- エアホース
- エアガン
- 模様付けパット
- ガストーチ

## 準備する材料

- Cリペカラー
- トーンカラー
- 水

## ■ 施工の注意点

- リペレジシリーズはプレミックスタイプの補修材です。水だけで練って下さい。強度を増すために接着剤等を混入した場合、硬化時間・色が設定と異なる場合がありますのでご注意下さい。
- 水で練り混ぜた物は残さず全部使用して下さい。**硬化が始まってからの再加水・練り返しはしないで下さい。**クラック・接着不良の原因となります。
- セメント系ですので、風化・吸湿性があります。保存には充分注意しなるべく早めにご使用下さい。（5kg内袋は、保存性を良くするためヒートシールしてあります。さらに、輪ゴムが袋に入っていますので、使い残した物の封にご利用下さい。）
- 補修の際は下地の余分な凹凸は予めハンマー・チス・スクレーパー等で取り除き、掃除をして下さい。離型剤が表面に残っている場合は特に剥がれ易くなります。ブラシ等で補修面を擦り、水湿すると効果的です。
- スクレーパーや金コテで手を切る恐れがありますので扱いにご注意ください。
- Cリペライニング、Cリペカラー等に記載されている**注意書きを必ずお読みください。**
- Cリペカラーに混和液を混入後は、24時間以内に使い切ってください。
- 吹付けする際、付着すると困るような箇所には予め養生してください。万が一付着したら水で濡らしたウエスで拭き取ってください。
- Cリペカラーは使用する際、しっかりと混ぜてご使用ください。混ぜりきっていないとムラができる場合がございます。
- Cリペカラーは**少しずつ薄く吹き重ねるように**吹付けてください。一度に厚く吹きますと水滴が垂れてしまい仕上がりが悪くなってしまいます。『吹付け→乾燥→吹付け→乾燥…』と下地が見えなくなるまで繰り返してください。
- 模様付けは規則的に叩くと違和感がでてしまうので周囲の模様を参考に自然な風合いに一定になるよう軽く叩いてください。